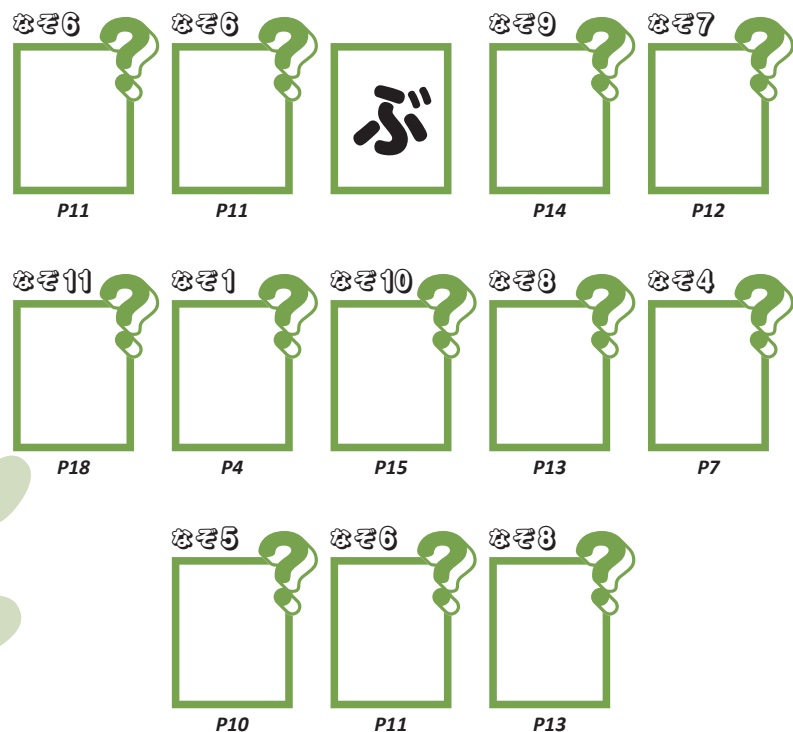


なぞの答えに隠れていた
キーワードをつなぎあわせよう。
ミッションが浮き出てくるよ！



なぞなぞ
ウォーキング

⑤

国分寺崖線沿いのみどりと
近代建築を巡る Natural Greenery +
Modern Architecture

発行 令和5年11月

世田谷区教育委員会事務局 生涯学習課文化財係
TEL 03-3429-4264 FAX 03-3429-4267

編集協力 場所づくり研究所プレイス

なぞなぞウォーキング5

国分寺崖線と、
そこに点在する
近代建築を
ウォーキングしながら、
なぞなぞに答えよう！
なぞの答えの中に
隠れているキーワードを
つなぎ合わせると
ミッションが
浮き出てくるよ！

近代建築を巡る
Modern Architecture

国分寺崖線沿いのみどりと
Natural Greenery



国分寺崖線沿いのみどりと近代建築を巡る



なぜ

1

こくぶんじがいせん

国分寺崖線の高低差は最大どのくらいあるでしょう？

- ❶ 水泳の飛び込み台の高さ (10m)
- ❷ 初代ガンダムの身長 (18m)
- ❸ 駒沢公園のオリンピック記念塔 (55m)

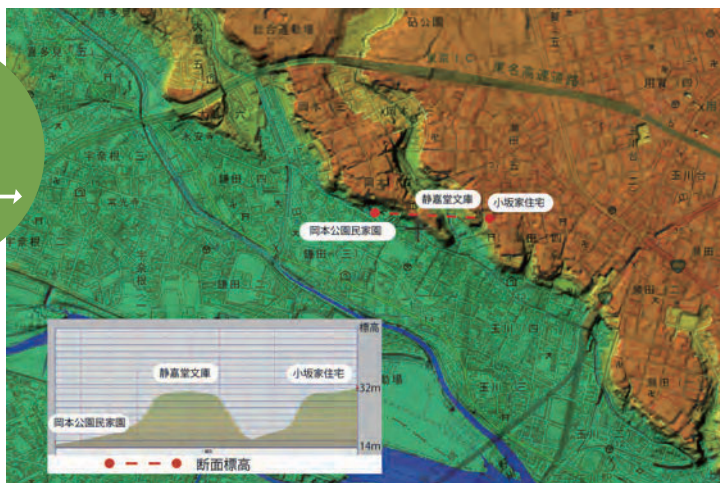
答えはページの下

国分寺崖線は立川市から国分寺市、調布市、世田谷区などを経て、大田区に至る全長30kmにわたる崖の連なりのことを言います。成城のあたりから二子玉川へかけては、20mほどの高低差の崖が続いています。崖線沿いには旧石器時代から人が住んでいたことがわかっていて、古墳などの遺跡を今も目にすることができます。

キーワード
初代の「い」

P24へGO!

岡本周辺の
立体地図
(国土地理院webと
カシミール3Dを
用いた)



なぜ1の答えは ❷ 18m

なぜ

2

国分寺崖線沿いに湧水が多いのは、はるか昔にどのような場所であったからでしょう？

- ❶ 多摩川の河原
- ❷ 丸子川の河原
- ❸ 東京湾の海底

答えはページの下

かつて世田谷の広い範囲を流れていた多摩川は次第に流れを狭め、その跡に砂利が残されました。台地には火山灰が厚く積もり、砂利の層「れき層」は見られませんが、国分寺崖線の崖下では、地下水が流れやすい「れき層」が地表に出ている場所が多く、湧水となって周囲を潤しています。



瀬田四丁目旧小坂緑地の湧水

一回
休み

なぜ2の答えは ❶ 多摩川の河原

なぞ

3

国分寺崖線の斜面には別の名前があります。何と言うでしょう？

- ① しゃけ
- ② はけ
- ③ まけ

答えはページの下

「はけ」の意味を辞典で調べると「山の斜面」とか「崖」などと書かれています。斜面地は、宅地開発などがおよびにくく、地形や湧水が残りました。国分寺崖線はクヌギやコナラなど高木が繁り、サワガニやタヌキなどの様々な動植物を育んでいます。

一回
休み



「みどりの生命線」とも呼ばれる国分寺崖線

なぞ3の答えは ② はけ

なぞ

4

国分寺崖線の特徴として坂が多い。その一つ、岡本三丁目^{こうばい}の坂の勾配はおおよそどのくらいでしょう？

- ① 11%
- ② 22%
- ③ 33%

答えはページの下

岡本や瀬田の地域には、馬坂や女坂のほか、名前のない坂もたくさんあります。そのため「岡本には坂が多くて苦労するから、かわいい娘は岡本へ嫁にやるな」といわれるほどでした。岡本三丁目の坂は「関東の富士見百景」に選ばれ、いつしか「富士見坂」とも呼ばれるようになりました。



岡本三丁目の坂
晴れた日には富士山を見ることができる

※ワークブック
22%の
「に」
→ P24へGO!

なぞ4の答えは ② 22%

コラム①

河川と火山の合作

ー国分寺崖線の成り立ちー

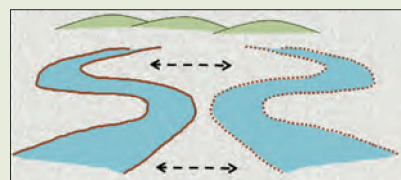
現代よりも温暖であった12万年ほど前、世田谷のほとんどの範囲が海の中にありました。その後の寒冷化により陸化し、多摩川は世田谷の広い範囲を流れていましたが、10万年前頃から流れの範囲が狭まり、現在の流路に近づいてきました。

河川が流れると地面が削られ、^{だんきゅう}段丘という段差ができます。しかし、多摩川が地面を削って形成されたのが国分寺崖線、というほど単純ではありません。

同じ時期、富士山や箱根山の噴火が活発で、世田谷に大量の火山灰が降り積もりました。火山灰は、^{あかつち}赤土の厚い地層（ローム層）となり、多摩川が流れなくなった地域では10m以上にも及ぶ厚さになりました。一方、多摩川が流れる世田谷の南西部では、火山灰は川に流され、地面の高さに大きな差ができました。

多摩川が削った段差と、火山灰が積もった高低差。2つの要素の合作により国分寺崖線は形成されている、といえるのではないのでしょうか。

国分寺崖線形成のイメージ



多摩川が
世田谷の広い範囲を
流れていた頃

流れの範囲が狭まり
火山灰が堆積して
ローム層を形成



コラム②

国分寺崖線沿いに湧水が多いのはなぜ？

区内には80ヶ所ほど湧水点があり、このうち約8割が国分寺崖線沿いにあります。

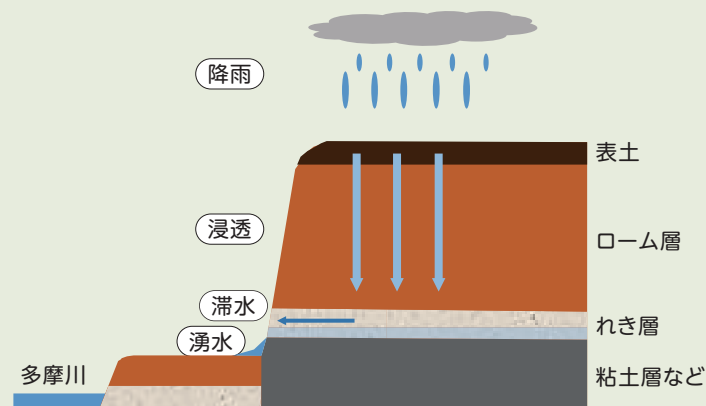
多摩川の流れの範囲が狭まると(コラム①参照)、流れなくなった地域には、川の砂利だけが残されます。その上にローム層が厚く積もり、砂利の層(れき層)は地中深く埋もれました。

地表に降った雨は地下水となり、垂直方向にローム層に浸透し、水を通しやすい「れき層」では水平方向にも流れながら、さらに下部の地層に浸透していきます。

一方、国分寺崖線の崖下では、ローム層が薄く、「れき層」が地表近くに位置しているため、「れき層」を流れる地下水を、湧水として真近に見ることが出来るのです。

国分寺崖線には、樹林地や湧水が点在し、生物が生育する自然環境が残っています。世田谷区の「みどりの生命線」として、後世に継承していきたい環境です。

国分寺崖線沿いの湧水のイメージ



なぞ

5

たくさんの古い書物を
せいかどうぶんこ
 収蔵している静嘉堂文庫。
もろはしてつじ
 第二代文庫長の諸橋轍次
 が手がけたものは
 何でしょう？

- ①『大漢和辞典』
- ②『大日本辞典』
- ③『大英和辞典』

答えはページの下

静嘉堂文庫は、明治25年(1892)に駿河台の三菱
やのすけ
 第2代社長・岩崎彌之助邸内に創設され、次いで
こやた
 子息の第4代社長・小彌太が高輪邸に文庫を移しました。その後大
 正13年(1924)、岡本に文庫を建設しました。現在、約20万冊の東
 洋の古い書物と6,500点の東洋古美術品を収蔵しています。第2代
 文庫長を務めた漢学者・諸橋轍次は、30年を超える歳月をかけて、
 見出しの漢字約5万字・熟語約53万語を収録した『大漢和辞典』を
 編さんしました。



静嘉堂文庫
 外観と
 『大漢和辞典』

✳️ワーク
 大漢和の
 「い」
 → P24へGO!

なぞ5の答えは ①『大漢和辞典』

なぞ

6

静嘉堂文庫は
 どんな素材を主に使って
 建てられているでしょう？

- ① 木材
- ② 粘土
- ③ 鉄筋コンクリート

答えはページの下

小彌太は関東大震災の翌年大正13年(1924)、彌
 之助の17回忌に際して鉄筋コンクリートによる堅
 牢な文庫を建築し、この地に静嘉堂文庫は移転し
 ます。三菱関連の建築を多く手掛けた桜井小太郎
 が設計し、イギリスの郊外住宅のような雰囲気
 を漂わせています。外壁には、当時帝国ホテルの建
 設をきっかけに全国で流行する、表面のひっかき傷が特徴のスク
 ラッチタイルが貼られています。



✳️ワーク
 コンクリートの
 「こ」「く」
 → P24へGO!

静嘉堂文庫の
 スクラッチタイル

なぞ6の答えは ③ 鉄筋コンクリート

なぞ

7

岩崎家玉川廟を
上からみると
どんなかたちを
しているでしょう？

- ① 円
- ② 十字
- ③ 星

答えはページの下

はくあ
白亜の壁と緑青色のドーム屋根が特徴の岩崎家玉川廟は、明治43年(1910)に、父・岩崎彌之助の納骨堂として、子息の小彌太によって建設されました。
ろくめいかん
設計は鹿鳴館などを手がけた、イギリス人建築家のジョサイア・コンドルに任されました。

ひさし
この建物を真上から見ると四方に庇が突出した、十字のかたちをしています。

キーワード
十字の
「じ」

P24へGO!



岩崎家玉川廟
丘陵の自然緑地のなかに
静かにたたずむ

なぞ7の答えは ② 十字

なぞ

8

瀬田や岡本は明治後期
から別荘(別邸)地として
知られるようになりました。
都心から別邸への移動を
楽にしてくれた明治40年
(1907)開業の交通手段は
何でしょう？

- ① 玉川電気鉄道
- ② 馬車
- ③ バス

答えはページの下

玉川電気鉄道が渋谷から玉川まで開通したのは明治40年(1907)です。当時上野毛に「萬象閣」と名付けた別荘を所有していた田健治郎(通信大臣)は、「玉川電気鉄道ができて別荘に行くのが楽になった」と日記に記しています。

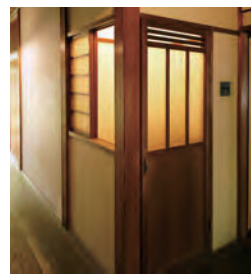
キーワード
電気鉄道の
「ん」「う」
P24へGO!

瀬田から
終点の玉川方向を
望んだ光景



なぞ8の答えは ① 玉川電気鉄道

この写真は
旧小坂家住宅にある
部屋の写真です。
何の部屋でしょう？



- ① 電話室
- ② 喫煙所
- ③ トイレ

答えはページの下

旧小坂家住宅は、昭和13年(1938)に小坂順造の玉川別邸として建築されました。小坂順造は長野県出身で、貴族院議員、信越化学工業社長などを歴任した政財界人でした。建物は清水組(現・清水建設)が設計・施工を行い、台地上の眺望の良い場所に建っています。写真の電話室は、座敷北側の廊下に面して位置しています。他にも呼び出しボタンや水洗式トイレやボイラーによる一括空調など、当時の新しい設備が整っていました。

※ワンフ

電話の
「ん」

P24へGO!



① 呼び出しベル



② 東洋陶器製の洗面器



③ ボイラー室



④ 電気式の暖炉

なぞ9の答えは ① 電話室

旧小坂家住宅には
日本の近代住宅の
どんな特徴が
みられますか？

- ① 茅葺民家(四つ間取りの家)
- ② 洋館建築(広間中心型の家)
- ③ 和洋折衷(廊下のある家)

答えはページの下

旧小坂家住宅は、部屋が斜めに並び奥へ伸びる配置をしています。このような配置を雁の群れに例えて雁行配置と呼んでいます。玄関の近くに接客空間を置き、奥へ行くほどプライベートの空間となります。この特徴は、江戸時代の大名屋敷などにみられます。大正時代には、中流住宅の中にも接客空間に洋間がつけられるようになっていきます。旧小坂家住宅は、書院座敷、茶室、洋間があり、和洋どちらでも客をもてなすことが可能でした。



旧小坂家住宅の平面図

※ワンフ

折衷の
「せ」

P24へGO!

なぞ10の答えは ③ 和洋折衷

コラム③ 国分寺崖線に集う人々

江戸時代、多摩川に近い岡本や瀬田は、「玉川八景」や「行善寺八景」が名所として描かれ、この地に四季折々の風景を楽しむ人が集まりました。また、多摩川では、幕府や彦根藩井伊家に献上する鮎漁もさかんに行われていました。やがて、明治時代になると、この風光明媚な景観を求めて、崖線に沿って政治家や実業家が週末を過ごすための別荘(別邸)を建てるようになります。

明治39年(1906)の田健治郎をはじめとして、大正期には清水組しみずようのすけの副社長・清水揚之助が、中根岸(現・台東区)から瀬田に主屋と離れを移築します(現在は離れが旧清水邸書院として二子玉川公園内に移築)。

その後も岡本や瀬田には、高橋是清たかはしこれきよや川崎八郎右衛門かわさきはちろうえもん、久原房之介くはらふさのすけ、戦後には鮎川義介あゆかわよしすけ、徳川圀順とくがわくにゆきといった著名人らが別邸を設けました。大正12年(1923)9月1日に関東地方を襲った関東大震災を機に、人口が密集する都心部から緑豊かな自然を求めて移り住んでくる人も増え、鉄道の普及とともに、徐々に別邸だけでなく、この地を住まいとする人が増加します。戦後は、本邸を戦災で失ったために別邸に移り住む例も多くありました。

ところで、このエリアの近代建築だけを見ても、様々なタイプの建築があることがわかります。静嘉堂文庫のような洋風建築、旧清水邸書院のような近代和風建築、旧小坂家住宅のような和洋折衷式住宅などです。洋風や和風の取り入れ方にもバリエーションが出てきて、生活習慣にも変化が現れてきたと言えるでしょう。

旧小坂家住宅 写真ギャラリー



旧小坂家住宅外観



寝室のシャンデリア



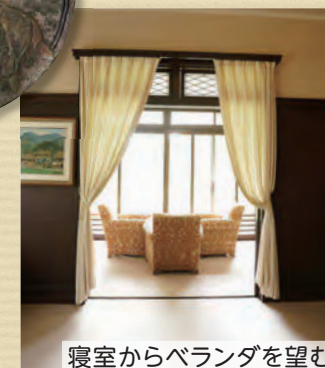
書斎の中央にある石張りの暖炉



小坂順造のレリーフ



古民家を思わせる玄関の土間たたき



寝室からベランダを望む

世田谷最初の鉄道、 「玉電」が開業当時に 運んだものは、 旅客と何でしょう？

- ❶ 多摩川の砂利
- ❷ 玉川の野菜
- ❸ 東京湾の海の幸

答えはページの下

玉川電気鉄道は、旅客輸送の他に、多摩川で採取した砂利の輸送を運行目的としていたため、略称の「玉電」にちなんで「ジャリ電」とも呼ばれました。大正13年(1924)には、砧線が二子玉川～砧間に開通し、中間駅の大蔵には砂利の積み込み施設が設けられました。当時は、都心部でビル建設や道路整備が増え、多くの砂利が必要とされていました。

キーワード
多摩川の
「が」

P24へGO!



大蔵駅の
砂利積み込み施設

出典:東京鉄道局運輸課 編『経済調書』
第1編、東京鉄道局、大正14.国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/984164> (参照 2023-06-30)

なぞ11の答えは ❶ 多摩川の砂利

世田谷区と川崎市の間 を流れる多摩川に、大 正14年(1925)二子橋 が架けられるまでは、主 に渡し船で往来しまし た。区内に「渡し場」はい くつあったでしょう？

- ❶ 4つ
- ❷ 5つ
- ❸ 6つ

答えはページの下

世田谷と川崎を結ぶ渡しは、①^{せき}堰の渡し(喜多見⇄川崎・堰村)、②宇奈根の渡し(宇奈根⇄川崎・宇奈根)、③二子の渡し(瀬田⇄川崎・二子)、④諏訪の渡し(諏訪河原飛び地⇄川崎・諏訪河原)、⑤下野毛の渡し(下野毛⇄下野毛飛び地)、⑥等々力の渡し(等々力⇄川崎・宮内)の6ヶ所ありました。

多摩川に架かる橋が増えると、渡し船は次第に姿を消してゆきました。

一回
休み



昭和30～40年頃の二子の渡し付近

なぞ12の答えは ❸ 6つ

コラム④ 玉川電気鉄道の開通から廃止まで

明治40年(1907)、玉川電気鉄道(玉電)が渋谷～玉川駅に開通すると、玉川駅前には賑わいが生まれるようになります。玉電の営業当初の目的は都心への砂利輸送でしたが、玉川遊園地や料亭街が駅の近くにできたことにより乗客数も年々増えるようになります。さらに、大正14年(1925)に鉄筋コンクリート造りの二子橋が多摩川にかけられると、昭和2年(1926)に玉川から溝の口までの区間が開通となり、神奈川県まで鉄道で結ばれました。

大正13年(1924)には、玉川電気鉄道砵線が開通し、震災復興の勢いもあり鉄筋コンクリート建築や道路舗装に用いる砂利の需要が増加します。しかし、砂利の取り過ぎによる事故や水害の懸念から、昭和9年(1933)に多摩川での砂利採取が禁止され、その後は旅客輸送が中心となっていきます。さらには、高度成長期を経て国道246号線の慢性的な交通渋滞が要因となり、昭和44年(1969)、についに玉川電気鉄道は廃止となりました。

昭和52年(1977)に新玉川線(現在の田園都市線)が地下路線として開通し、今に至ります。



昭和43年(1968)、
三軒茶屋交差点から西方向を見る



昭和40年(1965)の
二子玉川の風景

関連年表

太古

多摩川が
武蔵野台地を浸食



国分寺
崖線

江戸

薪や炭木・農業用水・水車利用

明治 38年

別邸

田健治郎邸建築

玉電・
砵線

40年

玉川電車開通
砂利採取・乗客輸送

43年

岩崎家玉川廟建築

清水家書院瀬田移築

大正 8年

12年

関東大震災

13年

静嘉堂文庫建築

砵線開通

14年

二子橋架橋

9年

砂利採取禁止

掘り
過ぎて

12年

小坂順造邸建築

20年

東京大空襲・終戦

昭和 35年

五島美術館建築・開館

38年

武家屋敷門移築
(鮎川義介邸)

44年

玉電・砵線廃止

52年

平成 25年

旧清水邸書院
二子玉川公園移築

